



▲こども議会の様子

1月

26日 議会改革特別委員会専門部会
19日 広報委員会

23日 本会議、議会運営委員会

22日 予算特別委員会、議会運営委員会

21日 予算特別委員会

19日 港湾振興特別委員会、
議会改革特別委員会

16日 産業建設常任委員会

15日 民生病院常任委員会

14日 総務文教常任委員会

13日 本会議(一般質問)、予算特別委員会、
広報委員会

12日 本会議(一般質問)

9日 本会議(代表質問)、全員協議会、
議会運営委員会、広報委員会

5日 議会運営委員会、本会議、
全員協議会

12月

【定例会】

29日 議会運営委員会 全員協議会

28日 議会運営委員会、本会議(臨時会)、
産業建設常任委員会、予算特別委員会

11月

21日 議会運営委員会、全員協議会

市議会のつぎ

山崎晋次議長を再任、加治宏規副議長を選出

11 月 28 日に開催した臨時会において、議長に山崎晋次議員を再任し、副議長に加治宏規議員を選出しました。また、常任委員会等各委員会の委員を変更し、それぞれ新しい委員長、副委員長を選出しました。（新しい委員会構成は 12 ページをご覧ください。）

就任ご挨拶

昨年11月臨時会におきまして、射水市第18代目の議長並びに副議長に就任させていただきました。身に余る光栄であるとともに、議決機関である議会の長の責任は極めて重大であり、身の引き締まる思いであります。

さて、これまで本市議会では、議会活動の透明性や議会改革の推進、積極的な情報公開など、「より開かれた議会」を目指すとともに、市民の皆様の負託にお応えできるように、市政の推進と議会の円滑な運営に努めてまいりました。さらには、本市議会における最高規範であり、議会活動の理念・原則等を定めた「議会基本条例」に掲げる「議会報告会」を開催させていただき、市議会の取組についての報告と意見交換を行い市民の皆様の身近な議会となるよう取り組んでまいりました。

今後においても、議会として、また、正副議長として新たな取り組みにも果敢にチャレンジし、これまで以上に積極的に議会活動を行い「より開かれた議会」を目指してまいります。加えて、本市の喫緊の課題である、新型コロナウイルス感染症防止対策や地域経済の支援、少子高齢化・人口減少対策、行財政改革、DXの推進等多くの課題に真摯に取り組むとともに、本年4月からスタートする「射水市第3次総合計画」に基づき、市民の皆様が夢と希望を持てる地域社会の実現を目指し、各種施策が着実に推進されるよう、当局と共に鋭意取り組んでまいります。「市民に開かれた信頼される議会」を目指して、全議員が一丸となって、取り組んでまいりますので、関係各位の変わらぬご指導と、ご協力を賜りますよう、心からお願い申し上げます。



山崎 晋次 議長



加治 宏規 副議長

議決結果一覧表 (令和4年11月射水市議会臨時会)

[議案]

番号	件名	議決年月日	結果
第53号	令和4年度射水市一般会計補正予算(第4号)	令和4年 11月28日	可決
第54号	射水市地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化に関する法律第9条第1項の規定に基づく準則を定める条例の一部改正について	令和4年 11月28日	可決

[選挙]

番号	件名	年月日	結果
第1号	議長の選挙	令和4年 11月28日	山崎晋次 当選
第2号	副議長の選挙	令和4年 11月28日	加治宏規 当選

議決結果一覧表 (令和4年12月射水市議会定例会)

[議案]

番号	件名	結果
第50号	令和3年度射水市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	可決
第51号	令和3年度射水市下水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	可決
第55号	令和4年度射水市一般会計補正予算(第5号)	可決
第56号	令和4年度射水市国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)	可決
第57号	令和4年度射水市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第2号)	可決
第58号	令和4年度射水市介護保険事業特別会計補正予算(第2号)	可決
第59号	令和4年度射水市水道事業会計補正予算(第1号)	可決
第60号	令和4年度射水市下水道事業会計補正予算(第2号)	可決
第61号	令和4年度射水市病院事業会計補正予算(第3号)	可決
第62号	第3次射水市総合計画基本構想及び基本計画の策定について	可決
第63号	射水市職員の給与に関する条例等の一部改正について	可決
第64号	射水市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正について	可決
第65号	射水市財産の交換、譲与、無償貸付等に関する条例の一部改正について	可決
第66号	射水市重度心身障害者等医療費助成に関する条例の一部改正について	可決
第67号	指定管理者の指定について(射水市小杉展示館及び射水市竹内源造記念館)	可決
第68号	指定管理者の指定について(射水市いきいき長寿館)	可決

番号	件名	結果
第69号	指定管理者の指定について(射水市観光交流センター)	可決
第70号	指定管理者の指定について(射水市営住宅等)	可決
第71号	令和4年度射水市一般会計補正予算(第6号)	可決

[認定]

番号	件名	結果
第1号	令和3年度射水市一般会計歳入歳出決算認定について	認定
第2号	令和3年度射水市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定
第3号	令和3年度射水市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定
第4号	令和3年度射水市介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定
第5号	令和3年度射水市水道事業会計決算認定について	認定
第6号	令和3年度射水市下水道事業会計決算認定について	認定
第7号	令和3年度射水市病院事業会計決算認定について	認定

[同意]

番号	件名	結果
第3号	教育委員会委員の任命について	同意
第4号	農業委員会委員の任命について	同意

[その他]

番号	件名	結果
	議会運営委員会、各常任委員会及び議会改革特別委員会の閉会中の継続審査	可決

[議員別賛否一覧／賛成と反対の双方があった議案等について掲載]

番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	議決結果	
議員名	石田 勝志	大垣 友和	西元 勇司	西尾 哲	金 賢志	杉浦 実	山本 満夫	寺岡 伸清	呉松 福一	加治 宏規	高畑 吉成	根木 武良	瀧田 孝吉	中川 一夫	中村 文隆	山崎 晋次	不後 昇	吉野 省三	津田 信人	堀 義治	奈田 安弘	高橋 久和		
議案第50号		○	○		○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第51号		○	○		○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第59号	欠	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第62号		○	○		○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	可決
認定第5号		○	○		○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	認定
認定第6号		○	○		○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	認定

○…賛成 ×…反対 欠…欠席 ※…議長は採決に加わりません。

代表質問

1 小杉駅周辺地区まちづくり基本構想の今後について

2 病児保育の広域連携について



中村 文隆 議員

問①▶ 基本構想に基づく取組の今後の進め方について伺う。

答①▶ 5つのまちづくり方針に約40の事業イメージを掲げ、事業化までの期間を短期、中期、長期に区分し、20年以内の事業化を目指す。一方、新湊地区においては、地域の強みである内川の景観や港湾、観光資源を生かした地域活性化に関するまちづくりの方向性を、地域はもとより、企業や地域経済団体にも共有され具体的な取組方針が明確にされたことから、国の地方創生推進交付金を活用し、新たな

公共交通「べいぐるん」の実証運行のほか、シェアキッチンやキッチンカーを活用した事業者・創業者支援など、まちづくり協議会が主体となって射水ベイエリア周辺の賑わい創出事業を実施している。今後こうした取組を発展させ更なる地域の価値向上を目的とした「まちづくり法人」等の発足も視野に官民連携による自立した事業展開を期待している。対して、小杉駅周辺地区まちづくり基本構想を推進するためには地区の強みである駅や高等教育機関の集積のポテンシャルを地域や経済団体で共有し、目指すべきまちづくりの方向性を明確にしつつ、地域等が主体的にまちづくりに取り組むための機運の醸成やその推進体制の構築が必要と考える。市としては、引き続き可能なものから事業展開を図り、商店街の活性化や地域の賑わい創出、本市のエントランスエリアとしての価値向上を目指していく。

問②▶ 病児保育の広域連携を検討すべきと考えるが、当局の見解を伺う。

答②▶ 病児保育の広域連携は医師・看護師の確保など、体制の強

化に有益であり保護者にも利便性が高まるため県が検討しているポータルサイトの導入について検討会への参加の呼びかけがあれば積極的に参加していく。



その他の質問

- ◆ 新年度予算編成について
- ◆ 子ども達の幸福度と自尊感情について
- ◆ 中間層復活に向けた支援策について
- ◆ 公共施設包括管理業務委託の現状について
- ◆ グリーントランスフォーメーション(GX)について
- ◆ 自動運転バス実証実験について
- ◆ コロナ禍における生活保護の現状とこれからについて
- ◆ 立地適正化計画と太閤山リノベーション計画について

一般質問

1 里山の観光資源について



大垣 友和 議員

問①(i)▶ 本市で撮影された映画の活用方法について当局の見解を伺う。

答①(i)▶ 映画「川っぺりムコリッタ」で印象的に紹介された薬勝寺を新たな観光スポットとして効果的なPR方法を検討し発信してまいりたい。

問①(ii)▶ 民間の観光施設の誘致について当局の見解を伺う。

答①(ii)▶ 本市の南部里山地域の里山の自然を活かした施設の開設については、全国の事例の情報収集を行い、新たな観光資源として可能性を探っていく。

問①(iii)▶ 南部里山地域の魅力発

信について当局の見解を伺う。

答①(iii)▶ 里山地域で実施されている体験事業等を観光コンテンツとして磨き上げ、観光客の誘客に活かす。

問①(iv)▶ 本市のインバウンド対応について当局の見解を伺う。

答①(iv)▶ インバウンド等観光客受入環境整備促進事業を広く周知し、機運醸成を図ってまいる。



代表質問

- 1 学力・学習状況調査について
- 2 民生委員の担い手不足について
- 3 農福連携の推進について
- 4 今後の都市計画について



【自民議員会】
津田 信人 議員

問①▶ 全国学力・学習状況調査の結果を受け、今後の教育活動の改善にどのように役立てるのかについて伺う。

答①▶ 教育委員会では、全国学力・学習状況調査研究委員会と学力向上委員会を設置し、その結果を検証し、成果と課題を明らかにし、教育活動や教科指導の充実と学習状況の改善を図る「射水市の今後の取組方針」としてまとめ、学校

現場への提言を行っている。

問②▶ 民生委員の担い手不足について伺う。

答②▶ 現在は定数の100%を充足しているが、民生委員の担い手不足は、全国的な問題である。本市としては住民相互の支え合い、助け合いの意識の醸成を図るとともに、若い世代への情報発信を行うほか、民生委員へのアンケート調査により課題を整理するなど、担い手不足への対策を検討していく。

問③▶ 農福連携の推進について伺う。

答③▶ 農福連携は近年注目されてきており、県の「農福連携コーディネーター」を積極的に活用することや、農業者、福祉業者に対して取組事例の紹介や研修会の開催により関係機関と連携し、農福連携を推進していく。

問④▶ 都市計画に本庁舎近隣の都市開発エリアを設ける考えはないのか伺う。

答④▶ 都市計画マスタープランにおいて、陸の玄関口である小杉駅及び市役所本庁舎周辺エリアを居住、商業・サービス、文化・交流等の多様な都市機能の立地誘導を

推進し、都市生活の利便性や快適性を向上させ、賑わいを創出する拠点として位置付けている。当該地区も都市の活性化や持続性のため必要な新たな市街地として、検討していく。



その他の質問

- ◆ ワンチームとやま連携推進本部会議について
- ◆ 新年度予算について
- ◆ マイナンバーカードの普及について
- ◆ 野手埋立処分所について
- ◆ 「こども基本法」と「射水市こども条例」の関連について
- ◆ 川崎幼稚園の事件を受けての保育事業の検証、見直し、改善について

一般質問

- 1 富山資源循環モデル創成にむけた産学官共創拠点について



山本 満夫 議員

問①(i)▶ 本市がプロジェクトに参画した経緯について伺う。

答①(i)▶ 「富山資源循環モデル創成にむけた産学官共創拠点プロジェクト」は、第2期とやま呉西圏域連携ビジョンに掲げる「高機能素材研究活動支援事業」として位置付け、圏域の強みを伸ばす高機能素材の研究開発を促進するものである。このことから、呉西6市でプロジェクトへ参画しており、本市においては、事業の効果が特定の企業や自治体に偏ることなく、圏域全体に広く行き渡るよう要望した上で

参画した。

問①(ii)▶ プロジェクトにおける射水市の役割について伺う。

答①(ii)▶ 本市を含む呉西6市の役割としては、圏域内の住民や企業に対し、アルミリサイクル事業に関する情報発信や資源リサイクルへの意識啓発活動を実施するとともに、地域住民からのアルミ製品回収や、環境教育といった、富山資源循環モデル創成に資する事業を担うことが想定される。



一般質問

- 1 農地を守るための農業振興政策の見直しについて
- 2 国の第3期スポーツ基本計画に見るスポーツ推進について



西尾 哲 議員

問①▶ 毎年美味しいお米を生産しても米価は低迷する一方、肥料、燃料等は高騰している。抜本的な見直しが必要ではないかと考えるが、当局の見解を伺う。

答①▶ 人材の呼び込みや農業DXの導入により、農業の成長産業化を図り、農業が抱える様々な課題解決を目指す。更に、農村集落の活性化やコミュニティ機能の維持についての課題解決も視野に入れ取り組む。

問②▶ スポーツには一人年間十萬円の医療費抑制効果が見込ま

れている。健康寿命の延伸などスポーツによる健康増進に対する期待が高まっていると思うが、当市のスポーツ人口の推移について伺う。

答②▶ 市内6つの主要体育館利用者数は、平成30年度516,267人の利用があったが、直近の令和3年度では、新型コロナウイルス感染症の影響により347,871人の利用となっている。

その他の質問

- ◆ 弾道ミサイルを想定した訓練について

一般質問

- 1 庁舎統合事業の検証等について



寺岡 伸清 議員

問①▶ 庁舎統合事業についての検証等について伺う。

答①▶ 庁舎統合による効果は、

利用市民の利便、職員移動の利便向上による行政サービスの向上、庁舎数減に伴う庁舎維持管理費の軽減などで効果がある。

跡地利活用では、旧庁舎を子ども子育て総合支援センター、クロスベイ新湊へ転用し、重点施策の拠点となっている。また、民間事業者による利活用を図った旧小杉庁舎、旧下庁舎では、立地法人により、地域の声や特性を生かしたまちづくりの一翼を担っていただいている。なお、旧大島庁舎については将来的に廃止の方向性を維持している。

市役所



その他の質問

- ◆ 立地適正化計画とまちづくりについて
- ◆ ふるさと学習の充実について
- ◆ 都市間交流の活性化について

一般質問

- 1 農業支援について
- 2 DXについて
- 3 フラワーパーク沖塚原について



金 賢志 議員

問①▶ 国の肥料価格高騰対策について、本市での取組状況を伺う。

答①▶ 化学肥料の低減を要件とする支援の内容の周知を図ってきたところであり、いみず野農業協同組合や高岡農林振興センターなどの関係機関と連携し、本事業が各農業経営体において確実に取り組まれるよう支援していく。

問②▶ 市民病院におけるスマート受診サービス導入について伺う。

答②▶ スマホアプリによるサービスの効果は、現段階では利用者の範囲が限定的であるが、将来的には

DX活用による市民サービスの向上を図る観点から、利便性や費用対効果を勘案し、導入について調査、研究していく。

問③▶ フラワーパーク沖塚原の夜間照明について伺う。

答③▶ 現在のところ整備計画はないが、今後の利用状況等を踏まえ、検討していく。



一般質問

1 認知症高齢者の徘徊事故保険（個人賠償責任保険）について



石田 勝志 議員

問①▶ 認知症高齢者の徘徊事故保険（個人賠償責任保険）導入

についての認識を問う。

答①▶ 認知症高齢者等個人賠償保険は、個人の保険であることから、導入については慎重に検討してきた。今後、認知症高齢者が増えると思込まれる中、万一の事故で賠償請求があったときに補償の支援があることは、高齢者や家族に安心感をもたらすとともに、認知症になっても、本人の希望に添って外出できる場所や、主体的に活動する機会を増やす等、本市が推進する認知症施策を補充するものとして期待できるのではないかと考えている。本

市においても、認知症高齢者や家族が安心して地域での生活を続けられる「共生」のまちづくりを一層推進するため、みまもりあい事業の対象者を基本とした内容で、前向きに検討したい。



その他の質問

- ◆ 落ち葉清掃、街路樹の剪定、地域ぐるみ除排雪事業の現状について

一般質問

1 社会インフラの適切な維持管理に向けた取組と技術職員の採用について



杉浦 実 議員

問①(i)▶ 将来にわたる都市経営の視点を持った取組について伺う。

答①(i)▶ 「道路舗装個別施設計画」や「都市公園施設長寿命化計画」等を作成し予防保全を取り入れた補修・修繕を計画的に行っている。

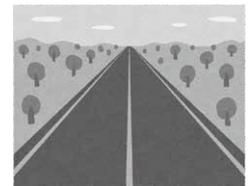
問①(ii)▶ 民間企業では実感できない行政の技術職員ならではの魅力や、やりがいを伝える努力が必要と考えるが当局の見解を伺う。

答①(ii)▶ 社会資本の整備や維持による生活環境の充実や経済活動の安定、安全・安心なまちづくりなどに寄与することはもとより、まちの賑わい創出や未来のまちづくりにも繋がるも

のである。また、企画立案から設計、工事まですべての工程に関われることも行政ならではの魅力であり、様々な機会を捉えてPRに努める。

問①(iii)▶ 社会インフラの包括管理の導入について伺う。

答①(iii)▶ 対象となる業務や区域、事業規模、参入する事業者の体制など整理する課題が多いことから、今後全国的な先進事例を参考にしながら導入について調査研究する。



一般質問

- 1 二元代表制について
- 2 コミュニティセンター及び協働のまちづくり推進条例の趣旨の徹底について
- 3 市内事業者への優先発注について
- 4 市の観光資源の拡大について



呉松 福一 議員

問①▶ 地方政治は二元代表制であることから、市議会議員の質疑に対しては、原則市長が答弁し、議論をするべきものだと考えるが、市長の見解を伺う。

答①▶ 市長の身分上のことや政策の大きな方向性については市長が答弁する。個別の施策は市長の補助機関である部局長が答弁する。

問②▶ 職員、市民に協働のまちづくり推進条例の趣旨を徹底してほしい。

答②▶ より良い事業の協働化が推進されるよう周知していく。

問③▶ 円安、物価高騰等により市内事業者の仕事が減り大変な状況である。市内事業者へ優先的に発注するよう市長から全部長に指示してほしい。

答③▶ 市が行う発注については、市内業者を優先的に選定している。市から補助金等を交付されている団体が行う発注については、市が発注に関与することは適切ではないと考えている。

問④▶ 葉勝寺池を本市の観光地として追加すること。昔のように多くの釣りがくるよう池の水を一回抜きへら鮎を放流することについて当局の見解を伺う。

答④▶ 観光資源の一つとして積極的にPRしていく。池の水を抜くことは課題が多く、放流については今後関係者と協議する。

その他の質問

- ◆ 新型コロナウイルス対策について
- ◆ 雪対策について

一般質問

1 学校給食について



瀧田 孝吉 議員

問①(i)▶ 学校給食の特色について伺う。

答①(i)▶ センター方式、自校方式

いずれも射水市産のサクラマスやねぎ、小松菜、えだ豆などを活用している。また20年間にわたり新湊漁業協同組合のご厚意により、市内の小学6年生に対してカニ給食を実施している。今後も児童生徒が地域の食文化に触れ、地元の食材に興味を持てるよう取り組んでいく。

問①(ii)▶ オーガニック給食を導入してはどうか。

答①(ii)▶ オーガニック野菜等の安定的な供給や価格面などの課題がある。将来的に地元の農産物の有機化が進み、供給体制の確立など

状況の変化に注視したい。

問①(iii)▶ 黙食について伺う。

答①(iii)▶ 文科省からの11月29日付の通知を受け教育委員会では、グループ（対面）での食事に不安を感じる方にも考慮し現在の対応を継続しつつ感染状況や学校医の意見を踏まえながら適宜緩和していくよう小・中学校に通知した。

その他の質問

- ◆子育て支援（保育関連）について
- ◆高齢者支援について
- ◆サブスクリプションについて

一般質問

1 内水ハザードマップの作成について

2 休日の部活動の地域移行に対する対応について

3 踏切道の安全対策について

4 出産・子育て応援交付金について



不後 昇 議員

問①▶ 内水ハザードマップの作成について伺う。

答①▶ 内水ハザードマップの作成に当たっては、国から示されている作成マニュアルに沿って計画的に作業を進め、令和7年度までに完成させたい。

問②▶ 休日の部活動の地域移行に対する対応について伺う。

答②▶ 学校や関係団体と丁寧に対話を続け、合意形成を図りながら休日の学校部活動の円滑な地域移行に取り組んでまいりたい。

問③▶ 小島踏切道の安全対策について伺う。

答③▶ 県は、民間事業者を含めた関係団体と協議・調整を進め、踏切本体の工事に先立ち踏切前後の県道拡幅工事に着手する予定と伺っている。

問④▶ 出産・子育て応援交付金について伺う。

答④▶ 本市としては、経済的支援である「出産・子育て応援給付金」を速やかに妊婦や子育て家庭に届けるため、面談体制を整備し、2月中の支給開始に向け、鋭意取り組んでまいりたい。



一般質問

1 バイエリア活性化の賑わい創出と滞在型観光について

2 射水市中小企業支援事業補助金について



西元 勇司 議員

問①▶ 景観を活かしたマリンアクティビティを楽しむ方への本市のPRについて伺う。

答①▶ 海老江海浜公園は、「世界で最も美しい湾クラブ」に加盟する富山湾の一部であることから、この美しい景観の魅力をより多くの方に知っていただくため、市公式フォトアンバサダーのイナガキヤスト氏などの写真を活用し、SNSへの掲載等、景観の美しさを生かした情報発信に努める。

問②▶ 介護関連分野等に参入す

る市内事業者の新規事業の取組を支援する射水市認証制度の導入やトライアル事業補助金を創設すべきと考えるが、当局の見解を伺う。

答②▶ 本市のあるべき将来の産業振興や介護環境の姿をしっかりと捉え、それぞれの分野において川崎市の取組を一例とし、本市に見合う施策を検討すべきである。

その他の質問

- ◆第一イン新湊とクロスベイ新湊の連携について

総務文教常任委員会

議案4件を可決すべきものとしました。
所管事務について1件の報告を受けました。

公共施設及び未利用市有地等に関する民間提案事業の審査結果について

民間事業者が持つ様々なアイデアやノウハウを活かした提案を広く募集し、審査を経て事業化を図ることで、公共施設マネジメントの推進や未利用市有地の有効活用等を目指すもの。

- 問** 今回提案された12の事業者のうち市内、市外の内訳について伺う。
- 答** 市内が2、市外が10である。
- 問** 脱炭素化に関する提案は、どの施設が対象となっているのか。
- 答** 59施設に対し提案があった。施設名は、提案者との詳細協議後に報告する。
- 問** 「大島中央公園でのベーカリーカフェの開設」という提案があるが、建物を建設するのか、キッチンカー等で営業するのか。
- 答** 大島中央公園内に、常設店舗を設けるといふ提案である。



民生病院常任委員会

議案7件を可決すべきものとしました。
所管事務について5件の報告を受けました。

射水市再生可能エネルギービジョンの策定について

世界各地で地球温暖化の影響とみられる異常気象が多発しており、2015年に採択された「パリ協定」では、産業革命以降の気温上昇を2℃ないし1.5℃に抑制する目標が掲げられ、国・県においても「2050年カーボンニュートラル」が宣言されている。
本市においても、自然的・経済的・社会的条件を踏まえた温室効果ガスの段階的な削減を推進していくため、射水市再生可能エネルギービジョンにおいて脱炭素に向けた地域の目指す姿を定め、カーボンニュートラルに向け再生可能エネルギーを最大限に導入していく。

- 問** 本市においてもゼロカーボンシティ宣言をしてはどうか。
- 答** 今後策定していく新たな総合計画実施計画や予算等を考慮し判断されるものであるが、宣言に関わらずカーボンニュートラルに向け、行政・市民・事業者が一体となって取り組んでいく必要があると考えている。



産業建設常任委員会

議案4件を可決すべきものとしました。
所管事務について7件の報告を受けました。

射水市燃料価格高騰対策貨物運送事業者支援事業について

燃料費等の価格高騰により、経営が逼迫している市内貨物運送事業者の事業継続及び経営安定化を支援するため、燃料購入費用の一部を助成するもの。
【事業概要】
・ 交付対象者
一般貨物自動車運送業、特定貨物自動車運送業又は貨物軽自動車運送業を営み、市内に営業所等がある法人又は個人で、申請日時点で事業を継続していること など
・ 1台につき定額助成
大型、中型など軽以外 3万円
軽 2万円



- 問** 当該事業の財源及び今後のスケジュールについて伺う。
- 答** 当該事業については、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用したいと考えている。今定例会に提出している補正予算が議決されれば、1月中旬には申請の受付事務を始めたいと考えており、準備を進めているところである。

予算特別委員会

令和4年度射水市 一般会計補正予算

(第5号) (議案第55号)

歳入歳出にそれぞれ7億6,405万3千円を追加し、総額を418億7,873万9千円とするもの

主な事業

- ふるさと納税返礼品発送等業務委託
- 燃料価格高騰対策貨物運送事業者支援事業
- 障害者自立支援給付事業
- 路線維持費特別補助金

など

令和4年度射水市 一般会計補正予算

(第6号) (議案第71号)

歳入歳出にそれぞれ8,500万円を追加し、総額を419億6,373万9千円とするもの

主な事業

- 出産・子育て応援給付金



質問者及び質問項目

日程	質問者	質問項目
12月21日	山本 満夫 委員	①ふるさと特産品推進費について ②富山資源循環モデル創成にむけた産学官共創拠点について
	高橋 久和 委員	①消防施設費について ②普通財産を売却、譲渡等する場合の処理条件の統一化について ③令和3年度財務書類から把握できる射水市の財政状況について ④庄川右岸地域用排水対策事業の第2回総会時に意見書を提出された夏野市長の真意について
	根木 武良 委員	①令和4年度射水市水道事業会計補正予算(第1号)について ②小・中学校の給食費無償化について ③65歳以上の重度心身障がい者等医療費助成の現物給付化について ④補聴器購入の支援について ⑤抗原検査キットの無料配布について ⑥既存住宅の省エネ化の支援について
	瀧田 孝吉 委員	①移住・定住促進事業費について ②パートナーシップ制度について ③広域連携による滞在型観光の確立について
	金 賢志 委員	①観光費について ②内川周辺観光について ③Live119について
	加治 宏規 委員	①新湊地区まちづくり協議会について ②クロスベイ新湊の使い方について ③放生津小学校、新湊小学校の在り方進捗状況について ④各地区センターについて ⑤庁舎内の雰囲気、明るさについて
	高畑 吉成 委員	①コミュニティバス運行の見直し等について ②他市の保育園での不適切保育報道を受けての本市の対応について ③子どもを性被害から守る「くもくん教室」について
	中川 一夫 委員	①12月補正予算について ②市政全般について ③その他
12月22日	大垣 友和 委員	①第2次総合計画について ②第3次総合計画について
	西元 勇司 委員	①射水市通学路交通安全プログラムについて ②射水市通学路安全対策推進会議について ③富山県道八町大門線の安全対策について

12月13日



12月21日



12月22日



決算特別委員会

議案2件及び認定7件を可決認定すべきものとなりました。

【一般会計】 防犯灯LED化事業について

問 防犯灯LED化事業について、令和5年度末までに整備率100%という目標を掲げているが、現在の進捗状況を伺う。

答 道路照明灯の約7割に使用されている水銀灯が製造中止となり、水銀灯の交換に要する費用が増加したことに伴い、LED設置費用の確保が困難となり、計画よりも遅れている状況である。今後、安価で効率的な手法を研究していく。

【病院事業会計】 救急医療の充実について

問 救急医療の充実に向けた具体的な手法とその成果について伺う。

答 救急患者の積極的な受入れや初期対応の徹底など、医局員一丸となって「断らない救急」に取り組んでいる。救急患者の受入数について、従来は月80件程度であったが、令和3年度は月100件、現在は月110件程度のペースで推移している。



港湾振興特別委員会

所管事務について3件の報告を受けました。

【報告事項(3件)の内容】

▼伏木富山港(新湊地区)のコンテナ取扱量について

・コロナ禍で落ち込んだコンテナ取扱本数は徐々に回復しつつあり、令和4年の10月末現在の速報値において、対前年同期比で約8・8%の増となっている。

▼伏木富山港(新湊地区)中央ふ頭再編整備事業の事業概要の変更について

・施工方法の見直しによる事業期間及び事業費の変更があった。

▼富山新港東埋立地Cポンドにおけるダイオキシン類の測定結果について

・令和4年5月に測定した結果について、県富山新港管理局から、全ての箇所で環境基準を満たしているとの報告があった。



議会改革特別委員会

前回(令和4年6月)の議会改革特別委員会以降の専門部会における「通年議会」検討結果の報告がありました。また、射水市議会基本条例や災害時の議会対応など、この委員会で検討していくべき課題についても議論し、今後の進め方について確認しました。

専門部会における「通年議会」 検討結果報告の主な内容

令和4年10月に専門部会において、平成25年から通年議会を導入している白山市に先進地視察を行った。

【通年議会導入のメリット】

- ① 市長の専決処分がほぼなくなり、議会での審議が可能になること
- ② 議案等の提出、受理を行える期間の制限がなくなること
- ③ 機動的、弾力的な議会運営が可能となること

【通年議会導入のデメリット】

- ① 本会議等の開催回数が増え、開催経費が増加する恐れがあること
- ② 地域での議員活動等の時間が少なくなる恐れがあること

通年議会の方向性については、専門部会において引き続き検討していくこととする。



新しい委員会構成

議会運営委員会 (6人)

[委員長] 中村 文隆 [副委員長] 高畑 吉成
[委員] 山本 満夫、堀 義治、奈田 安弘、高橋 久和

総務文教常任委員会 (8人)

[委員長] 高畑 吉成 [副委員長] 堀 義治
[委員] 杉浦 実、山本 満夫、寺岡 伸清
根木 武良、瀧田 孝吉、奈田 安弘

民生病院常任委員会 (7人)

[委員長] 津田 信人 [副委員長] 不後 昇
[委員] 大垣 友和、西尾 哲、金 賢志
山崎 晋次、吉野 省三

産業建設常任委員会 (7人)

[委員長] 高橋 久和 [副委員長] 中村 文隆
[委員] 石田 勝志、西元 勇司、呉松 福一
加治 宏規、中川 一夫

港湾振興特別委員会

[委員長] 奈田 安弘 [副委員長] 高畑 吉成
[委員] 議長を除く全議員

議会改革特別委員会

[委員長] 高橋 久和 [副委員長] 加治 宏規
[委員] 議長を除く全議員

予算特別委員会

[委員長] 堀 義治 [副委員長] 津田 信人
[委員] 議長を除く全議員



広報委員が新しくなりました

[委員長] 中村 文隆
[副委員長] 高畑 吉成
[委員] 加治 宏規、山崎 晋次、津田 信人
堀 義治、奈田 安弘、高橋 久和
(8人)

編集後記

中村 文隆 広報委員会委員長

今12月定例会では射水市第3次総合計画の基本構想・基本計画が審議可決されました。これを読めば今後10年間に本市が進む方向性や目指すべき姿が分かります。そこから、私たちだけでなく、私たちの子どもたち、孫たちにとって我が射水市がどのように変わって行くのだろうかと思い描くのも一つですが、むしろこれは私たちでどのように変えていくのか、変えて行けるのかという、全射水市民の力が問われる計画でもあります。市民や行政、議会という各々の立場でしっかりと捉えることが先ずは大切ですが、何よりも関わる全ての人々が自分事として考え行動してこそ初めて実現できるビジョンでもあります。ムズムズわくわくブラボーな10年になりますように。

3月定例会は、 2月27日(月)から始まります。

会期日程は、決まり次第ホームページに掲載します。

詳しくは、議事調査課(TEL 51-6610)までお問い合わせください。

12月定例会傍聴者数

12月定例会

本会議…25人
委員会…35人

合計60人



11月臨時会

本会議…4人
委員会…3人

合計7人



皆さんの傍聴をお待ちしています。ご希望の方は、議会開催日に本庁舎5階議会事務局までお越しください。